

2019年度地域活動全国リーダー研修会 報告

期日：令和2年2月7日（金）
時間：13：30～17：00
場所：アットビジネスセンター
（東京駅八重洲通り）
参加者：76名

13：30～13：50

開会挨拶・事業報告

- (1) 2019年度事業報告（案）・2020年度事業計画（案）について
- (2) 2020・2021年度地域活動事業推進委員会委員の選任について

13：50～14：50

基調講演「地域で活躍する管理栄養士・栄養士に期待するもの」

公益社団法人 日本栄養士会会長
神奈川県立保健福祉大学学長 中村 丁次

～基調講演資料からです～

管理栄養士・栄養士倫理綱領

制定 平成14年4月27日
改訂 平成26年6月23日

本倫理綱領は、すべての人びとの「自己実現をめざし、健やかによりよく生きる」とのニーズに応え、管理栄養士・栄養士が、「栄養の指導」を実践する専門職としての使命と責務を自覚し、その職能の発揮」に努めることを社会に対して明示するものである。

- 1 管理栄養士・栄養士は、保健、医療、福祉及び教育等の分野において、専門職として、この職業の尊厳と責任を自覚し、科学的根拠に裏付けられかつ高度な技術をもって行う「栄養の指導」を実践し、公衆衛生の向上に尽くす。
- 2 管理栄養士・栄養士は、人びとの人権・人格を尊重し、良心と愛情をもって接するとともに、「栄養の指導」についてよく説明し、信頼を得るように努める。また、互いに尊敬し、同僚及び他の関係者とともに協働してすべて人びとのニーズに応える。
- 3 管理栄養士・栄養士は、その免許によって「栄養の指導」を実践する権限を与えられた者であり、法規範の遵守及び法秩序の形成に努め、常に自らを律し、職能の発揮に努める。また、生涯にわたり高い知識と技術の水準を維持・向上するよう積極的に研鑽し、人格を高める。

1) 管理栄養士・栄養士の使命

管理栄養士・栄養士は、日本栄養士会に所属し、すべての人びとの「自己実現をめざし、健やかによりよく生きる」とのニーズに応え、保健、医療、福祉及び教育等の分野において、専門職として、この職業の尊厳と責任を自覚し、科学的根拠に裏づけられ、かつ高度な技術をもって「栄養指導」を実践し、もって、公衆衛生の向上に寄与することを使命としている。

2) 管理栄養士・栄養士の責務

管理栄養士・栄養士は、その免許によって「栄養指導」を実践する権限を与えられた者であり、実践にあたっては、人びとの生きる権利、尊厳を保つ権利、等しく支援を受ける権利などの人権を尊重することが求められる。また、人びとの自己決定権とインフォームド・コンセントを尊重するとともに、科学的根拠に裏づけられた望ましい基準を設定し、持てる限りのより質の高い「栄養指導」を行い、生命環境の問題について社会に貢献する。社会の期待と信頼に応えるために、自らの心身の健康の保持・増進に努め、常に人格の陶冶^{とうや}及び関係法を遵守する。さらに、生涯にわたり高い知識と技術の水準を維持するように積極的に研鑽するとともに、先人の業績を顕彰し、後進の育成に努める。職業遂行にあたって、品位と信用を損なう行為、信義にもとる行為をしてはならない。また、職業上知り得た個人情報の保護に努め、守秘義務を遵守しなければならない。

3) 管理栄養士・栄養士の職能（栄養の指導）

管理栄養士・栄養士の固有の業務は、「栄養指導」である。「栄養指導」は、健康の維持・増進、疾病予防・治療・重症化予防及び介護予防・虚弱支援を実践するための基本となるものであり、個人及び集団を対象とし、栄養の評価・診断・計画に基づいた栄養食事療法・情報提供・食事環境整備・食育活動等により、生涯をとおしてその人らしく生を全うできるように支援することである。

14:50～15:00 休憩

15:00～16:55 意見交換会

16:55～17:00 閉会挨拶・事務連絡

第37回公衆栄養活動研究会 報告

期日：令和2年2月8日（土）

時間：9：20～15：45

場所：アットビジネスセンター

（東京駅八重洲通り）

参加者：169名

9：20～ 9：50 受付

9：50～10：00 挨拶・オリエンテーション

10：00～11：30

講演1 噛んで食べることの科学的根拠を知る！ ～栄養士・管理栄養士と歯科の協働～

公立能登総合病院歯科口腔外科部長

金沢大学大学院医薬保険学総合研究科外科系医学領域 顎顔面口腔外科学分野

長谷 剛志

【抄録】

脳血管障害やパーキンソン関連疾患に代表される病気のほか、加齢に伴う生理機能や認知機能の低下、あるいは生活環境の変化によっても「食べる力」は影響を受ける。そして、「食べる力」が低下すると栄養状態が悪化するだけでなく、食べる喜びや楽しみの喪失により心理的満足が得られず、高齢者の孤独化にもつながる。

栄養士・管理栄養士は栄養の専門家として食物の入り口である口腔の役割について理解し、食べることに障害や不安を抱える高齢者に対して「食べる力」を支援したい。特に口腔機能としての食塊形成のレベルが高齢者に多くみられる誤飲性肺炎の発症リスクを予測すると報告されており、その根拠について詳しく解説する予定である。

さらに、病気を背景とした摂食嚥下障害の場合、病気を急性期・回復期・生活期・終末期と分けて考えた場合、EBM（根拠に基づく医療）からNBM（物語と対話に基づく医療）に比重が変化する過程で、食支援に対する取り組みも査証重視から物語重視へとパラダイムシフトする感性も大切にしたいと考える。

今回、患者の療養環境を把握し、ミールラウンドを通じて食べることに對する表質的問題を抽出し、そこから背景にある本質的問題（環境・認知機能・薬剤・心理・老化・栄養・病気）を考えるプロセスとノウハウについて事例を通じて講演する予定である。

11：30～12：40 昼食休憩・賛助会員紹介

オリジナル指導用媒体の作成と活用
～開業そして媒体ができるまで～

島根県栄養士会 地域活動事業部 伊藤 孝子

※ 主婦 → 在宅栄養士 → 開業栄養士
2005年「食のアトリエbene」開業
個人事業主として開業

今後について

- ①依頼先が期待することに できる限り応えるように 今後も最新の情報収集を欠かさず、合わせて情報発信もしていきたい。
- ②今後も期待に添えるように、わかりやすい媒体作りを続けていきたい。
- ③対象者の満足度アップのために、まずは、求められているものを正確に把握し、できる限り寄り添っていきけるように心がけたい。

新たな食の繋がり場を求めて
～子どもから高齢者まで～

千葉県長生郡長南町
コミュニティカフェまきば 御園生 日向子
※ 自宅店舗を改装し、平成30年4月にオープン

初めてよかったこと

- ①地産地消を目指すことで、新たな出会いや、知らなかった食材を見つけることが出来た。
- ②主食・主菜・副菜の揃った バランスのよい食事を提供する場、新たな食育の場を作ることが出来た。
- ③教室・ワークショップを通して、人との繋がりが広がった。また、人と人を繋げる場が出来た。
- ④いきいき教室や子ども食堂などの継続的な事業を通し、信頼関係が築かれ、相談を受けるような関係が出来てきた。

今後の課題

- ①地域の食材を安定して購入できる生産者との連携。
- ②子ども食堂等で地域の方々の協力（食材提供やボランティアスタッフの応援）
- ③コミュニティカフェとしての認知度をあげ、より多くの方に利用してもらう。
- ④高齢者が自分の役割を見つける場を作る。
- ⑤子どもや保護者が気楽に集まり、交流する機会を増す。

13:50～14:00 休憩

14:00～15:30

講演Ⅱ 「初めてママ・パパたちが知りたい授乳・離乳食のこと」 ～ 育児月刊誌「ひよこクラブ」の編集を通して～

株式会社風讀社編集本部部長

ひよこクラブエキスパートエディター 仲村 教子

※ 福島県出身

○講演内容

- 1 ひよこクラブの紹介
- 2 授乳・離乳の支援ガイドの改定ポイント
 - ・2019年3月改定
 - ・母子健康手帳への反映は2020年4月？
- 3 ひよこクラブの離乳食関連特集の編集について

15:30～15:45 閉会挨拶

お知らせします

「栄養ワンダー2020」参加者・参加施設を大募集！

「栄養の日・栄養週間」事業の一環として開催する「栄養ワンダー」。4年目となる2020年は、この夏、東京で開催される東京オリンピック・パラリンピックにちなみ「栄養を楽しむー運動・スポーツから考える、栄養のすごいー」をテーマに開催します。

今年も「栄養の日・栄養週間2020」協賛各社からの提供商品、共通ポスターや指導用媒体「栄養ワンダーブック2020」を用意しています。

また、2020年は、協賛企業の商品提供が難しい現場に向け、「栄養ワンダーブック2020」のみを活用した活動へもサポートします。

皆さん、ぜひ、ご参加ください！

開催概要

- ・会 期： 2020年7月1日（月）～8月31日（金）
- ・会 場： 管理栄養士・栄養士の活動先2, 000か所程度
- ・対象者数： 一般生活者300, 000人
- ・テーマ： 「栄養を楽しむー運動・スポーツから考える、栄養のすごいー」
- ・参加条件： 申込者は（公社）日本栄養士会会員であること
- ・協賛企業： 株式会社伊藤園、ゼスプリ インターナショナル ジャパン株式会社、株式会社明治

※申込期間：2020年3月上旬～4月27日（月）予定

詳細、申込みは、日本栄養士会ホームページをご確認ください（3月OPEN予定）

2020年度 全国栄養士大会

管理栄養士・栄養士が一致して取り組むべき課題を協議、対応や実践の方法を共有することを目的とし、全国の管理栄養士・栄養士が一堂に会します。

2020年は、誰一人取り残さない日本の栄養施策を推進するために「持続可能な社会の実現のためにできること ―栄養不良の二重負荷の解決をめざす―」をテーマに開催！

開催概要

- ・期間：2020年8月22日（土）・23日（日）
- ・場所：グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）
大阪市北区中之島5-3-51
- ・主催：公益社団法人日本栄養士会
- ・テーマ：「持続可能な社会の実現のためにできること
―栄養不良の二重負荷の解決をめざす―」
- ・定員：管理栄養士・栄養士1,900名
・定員になり次第、事前申し込みは終了、当日申込みも受け付けいたしません。
- ・参加費：（公社）日本栄養士会員：事前10,000円（税込）、当日15,000円（税込）
（公社）日本栄養士非会員：事前・当日20,000円（税込）
管理栄養士・栄養士養成施設の学生：事前・当日5,000円（税込）

生涯教育単位：全分野共通90-110／8単位（2日間）

※4月1日（水）より 事前申込み受付開始予定

○お問い合わせ先 （公社）日本栄養士会 全国栄養士大会申込み係
〒105-0004 港区新橋5-13-5 新橋 MCV ビル6階
TEL：03-5425-6555
FAX：03-5425-6554